

『走り出せ、性別のハードルを超えて、今』 ～平成30年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ～

男女共同参画週間とは・・・

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日～29日の1週間を「男女共同参画週間」として、市ではさまざまな取り組みを実施しています。今年も、男女共同参画を啓発するため、「かいなん男と女のつどい」を開催します。私たちの周りの男女共同参画について、この機会に考えてみませんか？

かいなん男と女のつどい

講演：宝塚生活が今、活きている～家庭と仕事の両立～

講師 (株)PETIPA代表取締役社長・元宝塚歌劇団星組／桐生のぼるさん

日時 6月23日(土) 13時30分開演 (13時開場)

場所 市民交流センター ふれあいホール

※駐車場は市民交流センターをご利用ください。

定員 500人

その他 入場無料。手話通訳・要約筆記、一時保育あり。

※一時保育(1歳～小学2年生)は6月13日(水)までにお申し込みください。

※オープニング演奏(下津マンドリンクラブ)やパン、クッキーなどの販売もあります。

申・問 市民交流課人権推進係 ☎483-8439 ☎482-0099 ✉siminkoryu@city.kainan.lg.jp

高齢者の総合相談窓口

問 海南市地域包括支援センター
(南赤坂11番地 高齢介護課内)
(☎483-8762 ☎483-8769)

地域包括支援センターでは、介護に関する相談事や心配事、悩み以外に健康や福祉、医療や生活に関する事など、高齢者に関するさまざまな相談を受け付けています。

また、平日の相談時間内に連絡が困難な人は、夜間・休日相談をご利用ください。

平日相談時間 8時30分～17時15分

夜間・休日相談日時 6月12日(火)、26日(火) 17時15分～19時(電話相談)

6月17日(日) 8時30分～12時(窓口・電話相談)

※お近くの身近な相談窓口として下表の事業所も利用できます。

担当地域	名称	所在地・電話番号
黒江・船尾	医療法人 恵友会	船尾264番地2 (☎483-3000)
日方・内海	医療法人 同仁会(カルフル・ド・ルポ)	築地1番地50 (☎483-1000)
大野・巽	医療法人 辻秀輝整形外科	名高178番地1 (☎483-3383)
亀川・北野上・中野上・南野上	社会福祉法人 中庸会(天美苑)	七山964番地1 (☎486-0662)
東・新田・西・鯉川・加茂郷・丸田・戸坂・黒田・丁・方北・方南・女良・大崎	社会福祉法人 平成福社会(かぐのみ苑)	下津町丸田1111番地1 (☎492-5800)
小畑・上・小原・塩津・加茂・仁義	医療法人 恵友会(下津)	下津町小南125番地 (☎492-5665)



受章おめでとうございます

春の叙勲

各界の功労者に贈られる叙勲の受章者が発表され、和歌山県内で41人が受章されました。その中で市内からは2人が受章されましたので、ご紹介いたします。

「50年間医師として仕事をしてきたが、この仕事を選んだ本心に良かった」と多くの経験を振り返りながら語られた新垣さんは、今回の受章を「患者さんや、従業員、同僚、家族のおかげです」と笑顔で話されました。

昭和54年に新垣医院を開業後、昭和59年から(社)海南医師会の理事に就任。以来副会長・会長の要職を歴任し、通算20年にわたり在宅医療や、在宅ケア、介護保険など多岐にわたり多大な貢献をされました。



《旭日双光章》 保健衛生功労
新垣 勝さん (75歳 名高)

「地域のためになれば、との思いで活動してきました。チームワークがないとできない活動ですが、仲間にも恵まれ先輩から後輩へと活動が引き継がれていくのがうれしいです」と笑顔で話す松尾さん。現在も、地域の皆さんとの関わりを大切にされています。

今回の受章について「身に余る光栄です。支えてくださった皆さんに感謝しています」と話されました。



《瑞宝単光章》 消防功労
松尾 一彦さん (73歳 小野田)

危険業務従事者叙勲

著しく危険性の高い業務に精励した人に対して贈られる叙勲の受章者が発表され、市内からは2人が受章されましたので、ご紹介いたします。なお、瑞宝単光章を受章された川端一恵さんは、本人の希望により紹介を省略させていただきます。


「周りの人に恵まれて感謝しています。個人としては微力でも、力を合わせてやってこられました」と受章の感想を述べられるとともに、「消防のロープわたりで全国消防救助技術大会に出場させてもらえたことが思い出です」と話されました。

昭和47年1月に下津町消防職員に採用されて以来要職を歴任、36年以上にわたり消防吏員として活躍されました。「現場では、被害を軽減するための確に素早い判断が必要です。命の尊さを常に考えていました」と話された野谷さん。豊富な経験を生かした訓練指導を行い、常に職員の育成に尽力されました。



《瑞宝単光章》 消防功労
野谷 由行さん (70歳 下津町上)

問 健康課
(☎483-8441)



**熱中症に
気をつけましょう!**

水分補給などが大切です。これから気温が上がり、湿度が多くなる時期を迎えます。この時期、熱中症に気を付けましょう。

高い気温や強い日差し以外にも、熱中症になりやすい状況があります。自分の体調の変化に気を付けるとともに、周囲の人にも気を配り、予防を呼びかけましょう。

また、自力で水を飲めない、意識がないなど、熱中症が疑われる人を見かけたら、直ちに救急車を呼びましょう。